

内藤・日吉地域 防災まちづくりニュース

発行 内藤・日吉地域連合防災会 平成30年3月 No.5



防災会のロゴマークが決まりました！

そな び
備えんじゃ・しの備くん



- ◇ 忍者が生きるための自然や社会に対する実践的な知恵は、「**防災**」に**応用**できると注目しました。
- ◇ 内藤・日吉地域にも「**忍者の知恵**」を備え、**楽しく防災**しましょう！



防災の心構えとしての「忍者三病」※



- ◇ 忍者は「忍者の三病」として「**恐れ**」「**侮り**」「**迷い**」を戒めました。
- ◇ これは防災にもあてはまると思います。災害を恐れるあまり考えないようにしたり、まだまだ来ない、ここは大丈夫などと侮って備えを怠り、いざ災害に遭ったときに避難すべきかどうか、どこに行くべきかなど迷ったりすることのないよう、日頃から戒めることが大切です。
- ◇ また、忍者はどんなピンチに陥っても決してあきらめず、何か方法があると考えました。不屈の精神で数々の奇跡を生んだと伝えられています。

※出典：伝統忍者集団：黒党くろんど

しの備くん 今回のお題は、災害時の被災生活が長期にわたる場合の「在宅避難生活」についてです。



裏面をご覧ください
ください！

<災害時の避難生活について>

平成 28 年の熊本地震から

- 「日本財団」が、平成 28 年のゴールデンウィークに熊本県の益城町で「在宅避難者世帯の状況調査^{※1}」を行いました。
- 調査結果によると、訪問調査した 2,686 世帯のうち、**約 46.3%にあたる 1,243 世帯が在宅避難生活**を送っていることが分かりました。
- 「**避難所での集団生活はいや**」、「**自宅の方が安心**」という理由のほか、「**農作業があるので離れられない**」という地域性による理由もありました。



災害時の避難所の様子
(H28.4 熊本地震)

※1: 日本財団調査結果
<https://www.nippon-foundation.or.jp/news/pr/2016/73.html>

国分寺市の避難所の状況

- 国分寺市では、災害時に避難所の機能を有する地区防災センターを 17 箇所（市立小中学校、都立国分寺高校、東京経済大学）定めており、震度 5 弱以上の地震が発生した場合に開設されます。
- 上記の地区防災センター 17 箇所では受け入れ可能な人数は、約 18,000 人^{※2}であり、これは**国分寺市全体の人口(約 12 万人)の 15%程度**です。



地区防災センターは、避難所、避難場所（校庭）のほかに、市からの情報発信拠点、物資の配給拠点としての機能を有しています。

※2: 使用可能な床面積を 1 人あたりのスペースで単純に割った数字ですので実際はもっと少ないと考えられます。

避難所では共同生活を送ることになります

- 避難所での居住スペースは受け入れ可能人数から想定すると、1 人あたり、たたみ一畳分程度と、限られたものとなります。
- 避難所という限られた空間での共同生活は、**何かと制約が多いのが実情**です。



制約された状況の中で、体調を崩される方も少なくありません。

<在宅避難生活について>

自宅で避難生活を送る<在宅避難生活>

- 避難所は、自宅が倒壊・半壊してしまった、あるいは火災により**自宅での生活が困難になってしまった人たちを受け入れるために開設されます。**
- 自宅が倒壊などせずに、生活することが可能であれば、基本的に、**大半の皆さんは在宅避難生活を送ることになります。**
- 在宅避難生活を送るためには、**十分な家屋の安全対策と水や食料などの備蓄品の準備**が必要です。



自宅で避難生活

家屋の安全対策

- ◆大型家具や家電類の転倒防止
- ◆必要に応じた耐震診断、耐震改修の実施
- ◆家庭用消火器を常備



備蓄品等の準備

- ◆飲料水と食料は、**1週間分を準備**
- ◆インスタント食品等を消費しながら買い足す「**ローリングストック法**」も有効



<在宅避難生活の支援>について検討します

- ◆防災会では、災害時に在宅避難生活を送らざるを得ない皆さんを支援するため、共助^{※3}の仕組みをつくっていきたくと考えています。
- ◆今後、アンケートなどで、**皆さんの在宅避難生活に対する考え方や、災害時における共助の仕組みのあり方について、お伺いしたいと思います**ので、ご協力お願いいたします。



※3:災害時において、隣近所や地域で共に助け合うこと

- ◇ **発災直後は、皆さん余震の不安が大きい**と思います。そのような場合、やはり家族だけでは不安かもしれません。
- ◇ 実際に、平成28年の熊本地震では、最初の震度7の前震から28時間後に本震（震度7）が起きています。
- ◇ しかしながら、**大半の皆さんが、在宅避難生活を送らざるを得ないことは事実**ですので、これを機会に、**ご一考いただければ幸いです。**



防災会からのご案内

■第2回の防災まちづくりアンケートを実施します。

- 昨年に引き続き、防災まちづくりアンケートを実施します。
- 前回のアンケートから1年が経過し、地区防災計画をつくるにあたり、**皆さんの在宅避難生活に対する考え方**や、**災害時における共助の仕組み**などについて、お伺いする予定です。
- 実施時期は、6月頃を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。



防災会の今後の行事予定です！

井戸端会議（30分程度）

- ・なかよし公園・内藤橋公園
毎月第1火曜日 10時から
- ・ポプラ公園
毎月最終日曜日 10時から

平成30年度 第21回通常総会

日時 4月8日（日）
13時から
場所 内藤地域センター



春の防災訓練

日時 5月15日（火）
13時30分から
場所 日吉町クリニックビル
駐車場

（写真は昨年の様子です）



防災まちづくり推進地区の詳しい情報は？

- 「防災まちづくり推進地区」に関して、もう少し詳しい情報や、他の推進地区の状況等については、国分寺市のサイトに掲載しています。右記のQRコードからアクセスできます。



編集担当 大槻美奈子・堀口俊子／鶴沢賢一（まちづくりコンサルタント）

防災まちづくりニュースおよび防災会へのお問い合わせ・入会申し込みは
内藤・日吉地域連合防災会 会長 龍神 瑞穂（090-2533-3435）まで